

『大阪 880 万人訓練』で子どもたちへ伝えておきたいこと

- この訓練の想定は『南海トラフ巨大地震』であること
 - ・ 『南海トラフ巨大地震』の 30年以内の発生確率は、70～80%程度
 - ・ 君たちが生きている間に発生する可能性は非常に高い

- 北区の防災マップ等で調べると、北稜中学校周辺は南海トラフの巨大地震が発生した場合でも津波は10 cm以下であると言われているが・・・、
 - ・ 自分の居る場所によって避難の方法も異なってくる(津波の可能性がある場合は、「高いところに逃げる」のが基本)。
 - ・ 阪神大震災の時には、早朝の発生であったため、(寝ている時に)タンスや家具の下敷きになって亡くなった方も多数いた。寝室には、何も置かないか、もしくは、家具等を固定しておくことが常識。
 - ・ また、大地震の場合は、火災で亡くなることも多くあるので、ガスや電気等を消すことも忘れてはいけない。
 - ・ 屋内の場合は、物が倒れてきたり、飛んで来たりすることもあるので、特に、頭を守る行動をとることが大切。揺れが少し落ち着いた段階で安全な場所に避難する。

- 学校で巨大地震が発生したら
 - ・ 教室の場合は、まずは机の下に隠れるなど、頭を守る行動をとる。
 - ・ 水泳の授業時は、プールからまず出て、プールサイドに集まり、低い姿勢を取る。プール内に残っている生徒がいらないかを確認する。
 - ・ 大きな地震の場合は、建物のゆがみが生じて、扉が開きにくくなることもあるので、教職員は揺れの落ち着いた状況で扉が開くかの確認が必要。
 - ・ 休み時間の大地震発生の場合などは、生徒がトイレに閉じ込められていることもあるので、避難時の人員確認は確実に行う。
 - ・ 北稜中学校の場合は、廊下のガラスは全て強化ガラスとなっているため、ガラス片が散乱している可能性は低いですが、避難時には足元に注意する。
 - ・ 避難場所に移動する際は、教室の消灯・換気扇停止・窓やドアは開けておく等を忘れないこと。

- ◇ 担当の先生方に
 - ・ 上記のことは、あくまで参考です。大切なことは、どのようにして『自分の命を守るのか』『多くの人の命を守るのか』を考えることです。
 - ・ 先生方の体験談をお話していただいても構いません。短時間で結構ですので、子どもたちが、大地震での防災や減災について真剣に考える時間となるよう、ご指導ください。